

決算修正が必要な額の修正内容別の内訳

○ 今回明らかになった決算修正が必要な額（118億2800万円）の修正内容別の内訳は、以下のとおり。

【決算修正の内容】	病院数	要修正額
未収金の過小計上の修正	49	約15億2,900万円
未収金の過大計上の修正	47	約12億1,200万円
簿外処理分の簿内への戻し	51	約9億1,000万円
計上年度の誤りの修正	51	約42億3,400万円
減価償却の償却年数誤りの修正	30	約14億6,900万円
その他	51	約24億7,300万円
合計		約118億2,800万円

(※) それぞれの主な内容は以下のとおり。

(未収金の過小計上の修正)

- ・請求保留レセプトの計上漏れの修正

(未収金の過大計上の修正)

- ・レセプトの査定・返戻の処理漏れの修正
- ・未収金の重複計上の修正
- ・入金による未収金の消込漏れの修正

(簿外処理分の簿内への戻し)

- ・簿外口座の戻し
- ・資産（災害備蓄）の計上漏れの戻し

(計上年度の誤りの修正)

- ・3月分費用の4月計上の修正
- ・3月分収入の4月計上の修正

(減価償却の償却年数誤りの修正)

- ・耐用年数の誤りによる償却過剰分の計上
- ・耐用年数の誤りによる償却不足分の計上

(その他)

- ・資産計上すべきものを費用計上していたものの戻し
- ・費用処理すべきものを資産計上していたものの戻し
- ・固定資産の除却漏れの修正

(注) 全社連の平成24年度決算においては、上記の修正のほか、会計制度の変更に伴う決算修正（臨時収益約792億円、臨時費用約259億円）を行うと全社連からは報告を受けている。